

平成 19 年度 喜安記念業績賞紹介

土井 美和子

喜安記念業績賞選定委員会委員長
(株) 東芝 研究開発センター

名誉会員 故喜安善市先生のご遺族、喜安蒨子様から、本会へご寄付をいただきました。いただいた資金をもとに、「喜安記念業績賞基金」を設置し、従来の業績賞を「喜安記念業績賞」として新設いたしました。そして、平成 19 年度受賞者から適用するとなったので、従来の表彰状に加え、新たに副賞として賞金が授与されることになりました。その点でも今回の受賞者は誠に幸運と言えます。

喜安善市氏は情報処理学会「コンピュータ博物館」で紹介されている日本のコンピュータパイオニアのお 1 人です^{☆1}。パラメترون電子計算機 MUSASHINO-1 号の試作をはじめ、計算機産業の自立に大きく寄与されました^{☆2}。

喜安善市氏の業績にならい、この「喜安記念業績賞」は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績を上げ、産業分野への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

平成 19 年度は、喜安記念業績賞選定委員会にて、表彰規程ならびに選定手続きにもとづき、推薦のありました候補について、厳正な審査を経て、次の 3 件 14 名の方が受賞されました。

- 素因数分解専用ハードウェアの開発と RSA 暗号の安全性評価(小暮 淳君, 下山武司君, 伊豆哲也君, 鳥居直哉君, 笛木俊介君)
- 携帯電話によるネットワーク型コーパスベース音声翻訳システムの構築(中村 哲君, 隅田英一郎君, 清水 徹君, 葦苈 豊君, 袋谷丈夫君)
- Web サービス技術の基盤確立と標準化, ならびに普及への貢献(丸山 宏君, 羽田知史君, 根山 亮君, 中村祐一君)

それぞれが書かれているように、技術を開発して、市場に出るには、今回受賞者として名前があがっている方々以外に、少なくとも 10 倍以上の方々が、何らかの意味で関連されたはずで、その陰にかくれた尽力と、また、市場ニーズに応えた改良があって、市場で使われる技術となったわけです。

今回の受賞がそのような陰の功労者の方々と、再度成功の喜びを味わっていただく機会となり、また、若手の研究者・技術者が、先輩の成功へのノウハウの一端を知る機会になればと思い、喜安記念業績賞受賞者紹介を企画いたしました。

読者の中には、これから喜安記念業績賞を狙われる方もおられるかもしれませんが、今回の紹介の中に、技術ポイントのアピールの参考になる記述が含まれているかもしれません。参考になれば幸いです。

(平成 20 年 5 月 30 日)

☆1 <http://museum.ipsj.or.jp/pioneer/kiyasu.html>

☆2 <http://museum.ipsj.or.jp/computer/dawn/0013.html>